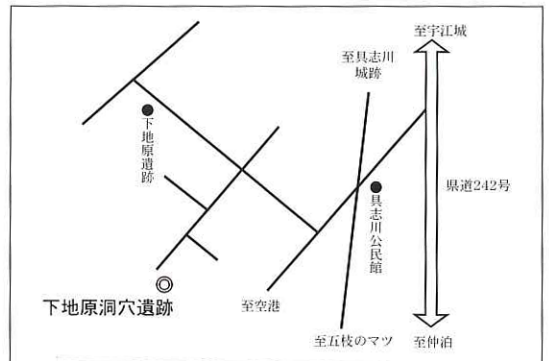


下地原洞穴遺跡

指定名称 しもちばらどうけついせき 下地原洞穴遺跡(町指定史跡)
所在地 久米島町字具志川下田285
指定年月日 昭和55年 5月21日
 (旧具志川村指定)
所有者 祖根鍋伊



遺跡である。

下地原洞穴は、南北方向に開口し、洞穴は、長さ100m幅は平均10m、天井の高さ8mの大型洞穴で、東方に開いている。洞口付近の大広間には、約2万年前～約1万5千年前の乳児の化石骨、リュウキュウジカ、リュウキュウムカシキョンが発見された他、沖縄貝塚時代後期からグスク時代にかけての土器、鉄器及び炭化米が出土する。

特に乳児の化石骨の発見は、全国でも初めてで、世界的にもまれな発見である。地質学、考古学上極めて貴重な